

子どもの貧困・子ども食堂に関する 調査報告(概要版)



神奈川県議会議員 くさか景子 2021年3月

★調査報告の詳細版は、くさか景子事務所にごさいます。以下までお問い合わせ下さい。

〒253-0053 茅ヶ崎市東海岸北 2-1-57 1階 TEL/FAX 0467-58-0290 future@grace.ocn.ne.jp

子どもの貧困(率)の現状～特にひとり親世帯で厳しい状況

子どもの貧困率は、2012年に過去最高の16.3%に達し、子どもの6人に1人が「**相対的貧困**」の状況におかれました。

その後、15年は13.9%、18年は13.5%となって若干緩和されてきましたが、それでも子どもの7人に1人が**貧困**の状況に置かれています。

貧困率は、子どもがいる現役世帯では、「**大人が1人**」の世帯と「**大人が2人以上**」の世帯とで別々に集計。

「**大人が2人以上**」の世帯は、2006～18年にかけて、貧困率が10～13%となっていますが、「**大人が1人**」の世帯(いわゆるひとり親世帯)では**貧困率が48～55%**となっています。

「ひとり親世帯臨時特別給付金」の都道府県別や市町村別の支給決定件数から、経済的に厳しい状況にあるひとり親世帯の割合が推計できます。

県平均は1.22%(82世帯に1世帯)ですが、茅ヶ崎市は**1.45%**(69世帯に1世帯)です(2020年10月現在)。

茅ヶ崎市内の子ども食堂など

子ども食堂は、貧困家庭や孤食の子どもに食事を提供し、安心して過ごせる場所として始まりましたが、**最近では、対象を子どもに限定しない食堂も増えています。**

NPO法人「全国こども食堂支援センター・むすびえ」の2020年の調査では、**全国に少なくとも5,086ヶ所の子ども食堂**があります。子どもの貧困対策は元より、**地域の居場所の提供など幅広い役割を担うようになって**います。

右の「茅ヶ崎 mamamap」によると、2020年10月現在、茅ヶ崎市内には子ども食堂が**9ヶ所**あります。

(<https://mamamap.amebaownd.com>)





幸町こども食堂「おいしいね」～親子の食堂
茅ヶ崎駅南口、月1回木曜、17～19時

「みんなの居場所」～子どもから高齢者まで
鶴が台団地名店街、月2回金曜、17～19時



それぞれに特徴を持って活動中の子ども食堂や子育てスペース

地域のホットスペース「たんぽぽはうす」
香川3丁目、月2回木曜お昼に「ランチの日」



*コロナの関係で「ランチの日」は休止中です。

子育てサロン「HYGGE (ヒュッゲ)」
「茅ヶ崎 mamamap」も作成!

調査結果のまとめと政策提言

県は、子どもの貧困対策推進計画を策定し、ひとり親などへの支援については明記しています。2020年度は、子ども食堂に対して1回5万円の協力金を支給したほか、子どもの居場所ポータルサイト、神奈川こども食堂・地域食堂ネットワークで情報を共有しています。しかし、国・県・市はこども食堂や居場所に直接関わりを持っていません。

そこで、地域の福祉支援センター、専門家、NPO、社会福祉協議会、民生・児童委員、自治会、企業、フードバンクなどとも連携して、子どもが抱える課題に共に関わりを持ち、支援や解決につなげる役割を果たしていくことが必要です。

